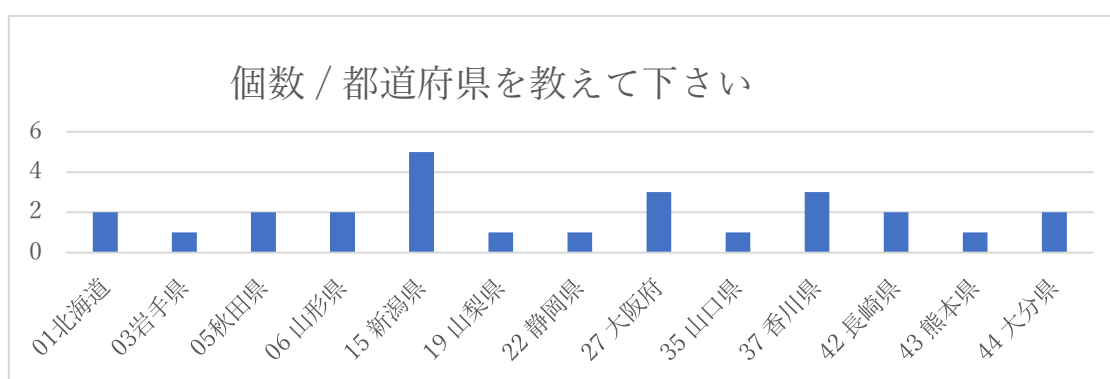


2021.06.05

医療ソーシャルワーカーのための  
保健医療機関におけるソーシャルワーク実習マニュアル（β版）  
アンケート結果

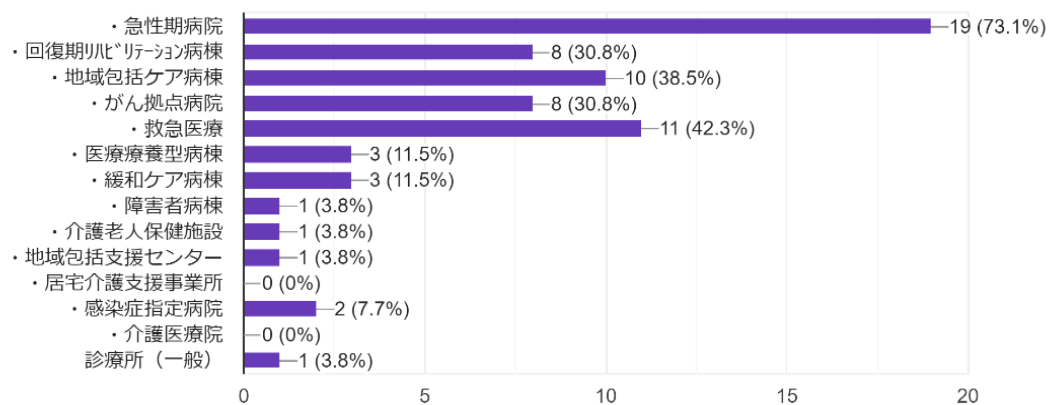
全国会長会のみなさま

おかげさまで13の道府県協会の皆様から26件の返信をいただきました。ここに集計結果を報告いたします。



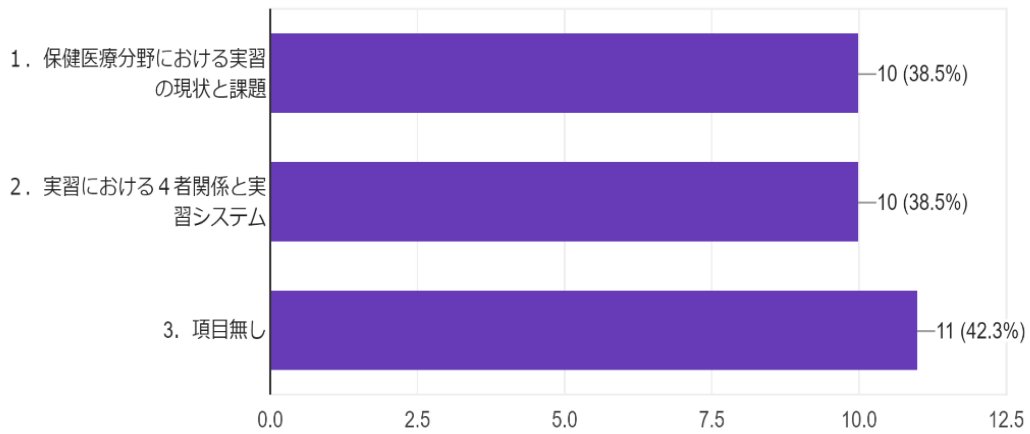
実習受け入れ施設の機能をお願いします（複数回答可）

26件の回答



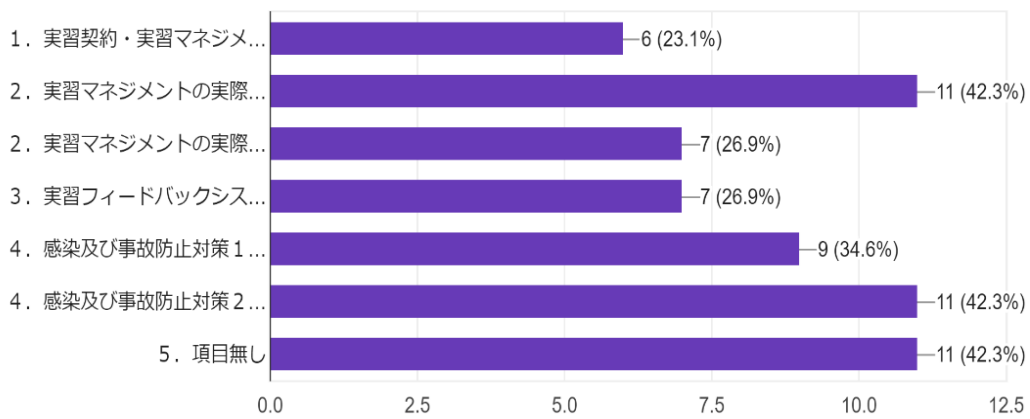
◆マニュアルを活用して良かった項目【第1章 実習概論】にチェックをお願いします。

26件の回答



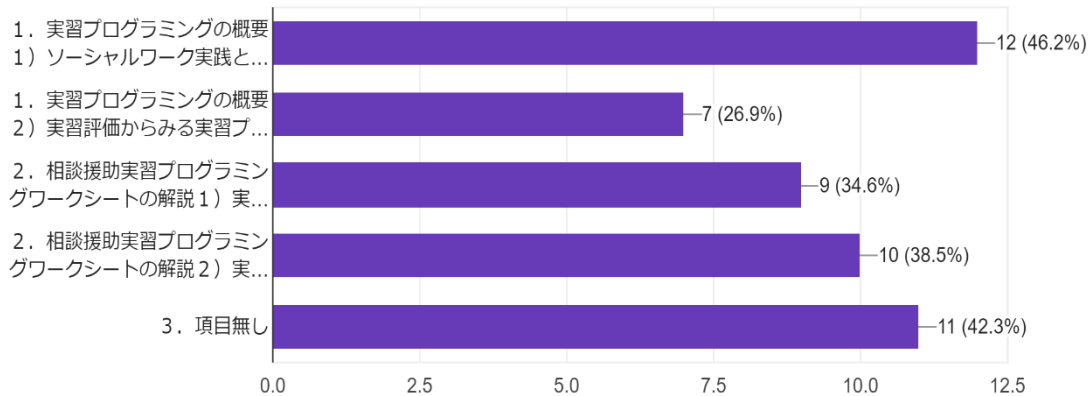
◆マニュアルを活用して良かった項目【第2章 実習マネジメント】にチェックをお願いします。

26件の回答



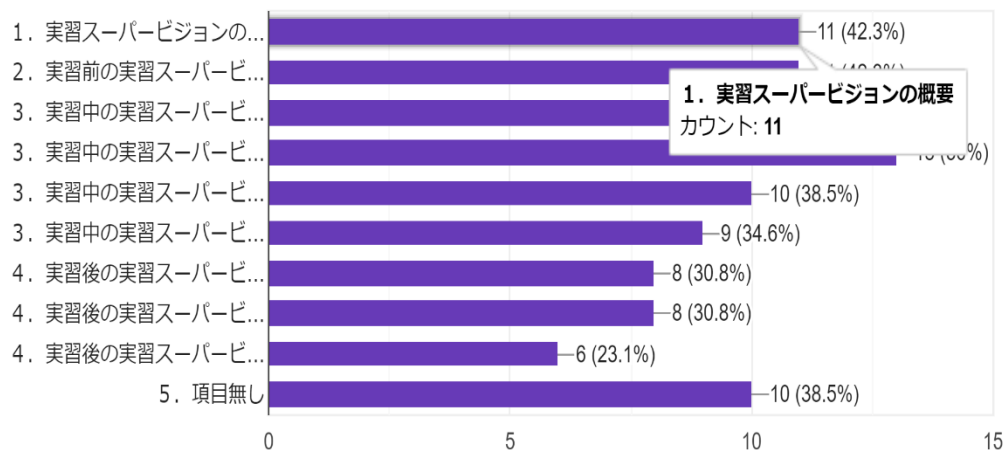
◆マニュアルを活用して良かった項目【第3章 実習プログラミング】にチェックをお願いします。

26件の回答



◆マニュアルを活用して良かった項目【第4章 実習スーパービジョン】にチェックをお願いします。

26件の回答



◆マニュアルを活用して良かった項目【第5章 実習評価】にチェックをお願いします。

26件の回答



◆マニュアルを活用して良かった具体的内容をお願いします（自由記載）3件の回答

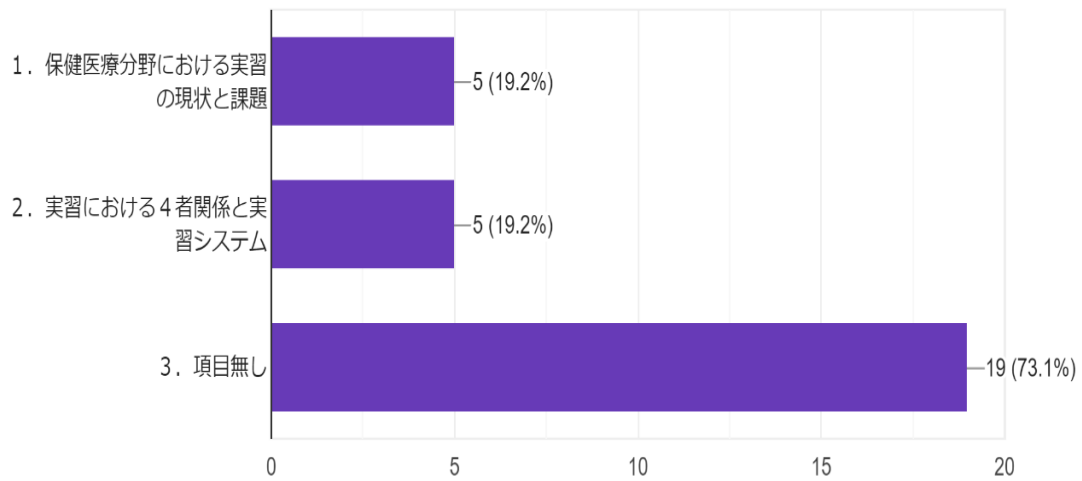
・学びの具体化（学びの先にある行動）をいかに実習生に示すことが課題でしたので、実習プログラミングの項に書いてある教育連盟が示す中項目、小項目を実習生とともに意識して取り組むことが出来るようになった。

・実習生を受け入れるうえで、マニュアルを通じてMSWチームで実習の行い方を共有することができた。

・全てにおいて、現場のソーシャルワーカーの思いが詰まったマニュアルだと感じます。より具体的にイメージが付きやすくまとめていると感じました。

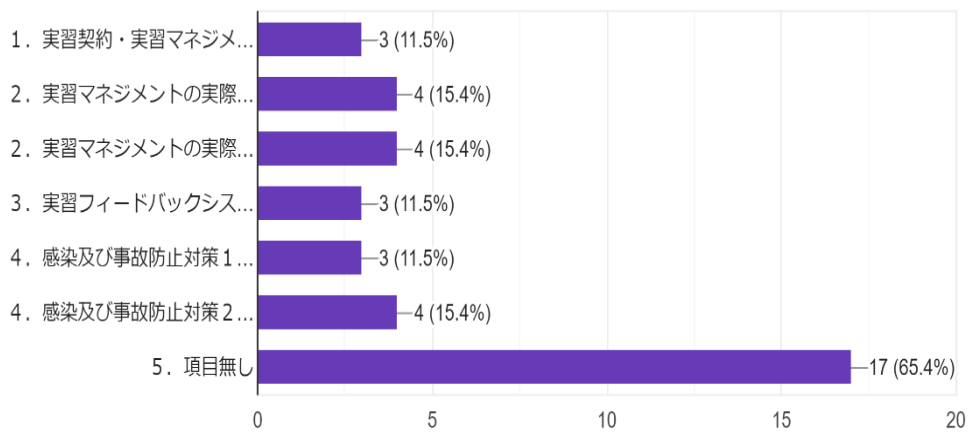
◆マニュアルを活用しきれなかった項目【第1章 実習概論】にチェックをお願いします。

26件の回答



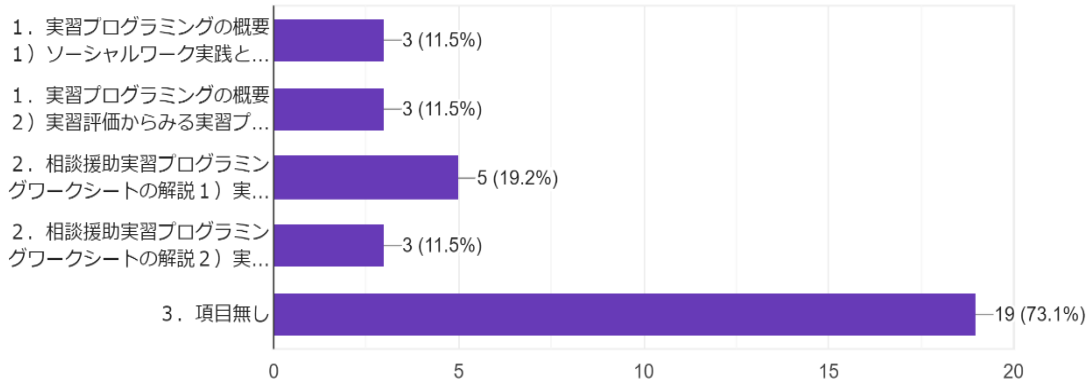
◆マニュアルを活用しきれなかった項目【第2章 実習マネジメント】にチェックをお願いします。

26件の回答



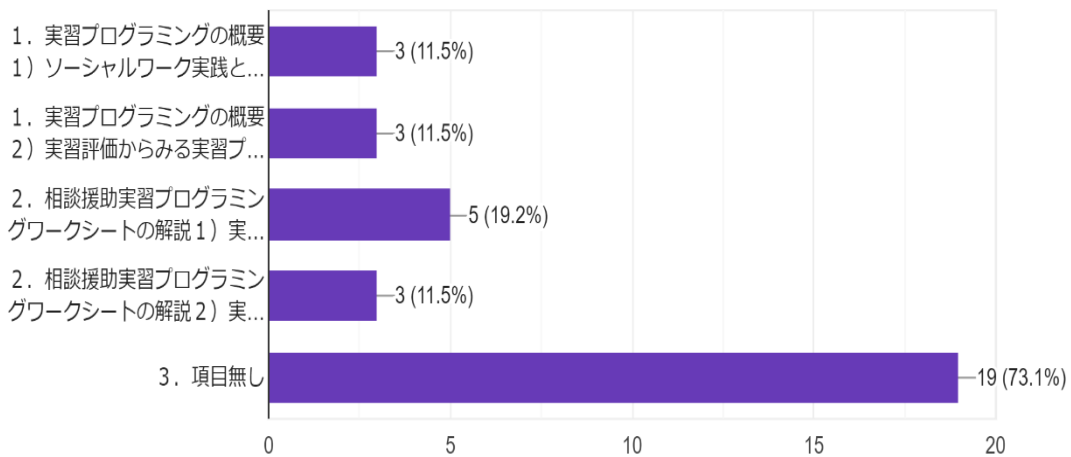
◆マニュアルを活用しきれなかった項目【第3章  
実習プログラミング】にチェックをお願いします。

26件の回答



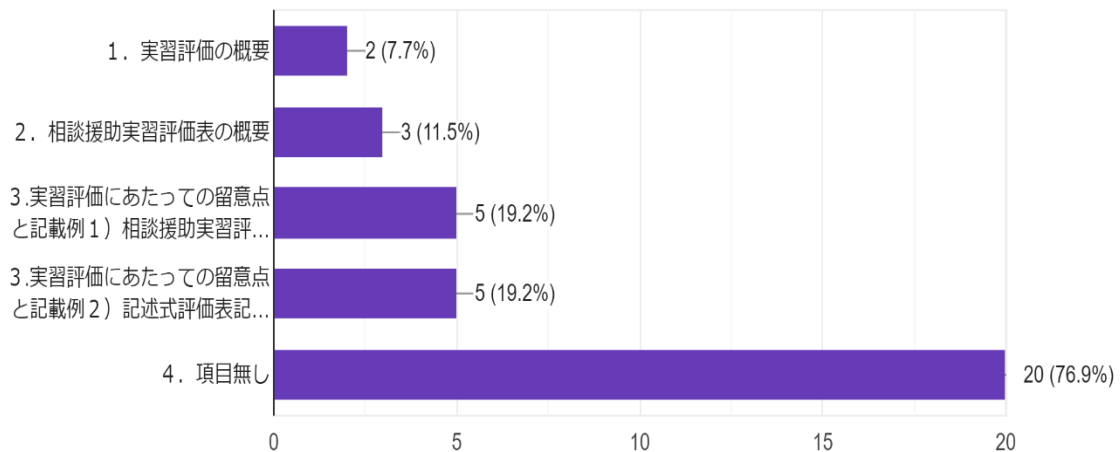
◆マニュアルを活用しきれなかった項目【第3章  
実習プログラミング】にチェックをお願いします。

26件の回答



◆マニュアルを活用しきれなかった項目【第5章 実習評価】にチェックをお願いします。

26件の回答



◆マニュアルを活用しきれなかった具体的内容をお願いします（自由記載）4件の回答

現状、実習の受け入れがないため、具体的な活用には至っていません。

実習受け入れできていないため

実習評価表については養成校指定のものがあり、そちらを活用しての評価だったため、マニュアル分の内容を十分に活用できなかった

実習がなかったため、活用できていません。

◆COVID19 感染症拡大で、実習指導者自身への影響を感じましたか？（自由記載）13件の回答

実習そのものが中止か養成校からの依頼で数日のオンライン実習となりました。

院内への入館制限があり、職員以外の業者の出入りの制限がありました。また、他職種も実習が制限されたり、中止になったりしました。

昨年度は受け入れなし。

受け入れに制約がでた

特にない

指導者自身が感染してはいけないとの危機意識が高まった。また、実習生を受け入れることで実習生が感染しないか不安になりました。

実習期間が短縮されたり、リモート実習等状況に合わせた対応が求められマニュアル通りにいかず、実習指導が負担となった。

影響はあった。本来、相談援助実習Ⅱは18日間を続けて受けていたが、今回は養成校の授業の都合もあり、9月と2月の2回に分けて受ける形となった。9月に指導した内容が、中断期間が発生したため、リセットされる（それに近い状況）になり、2月の実習開始時に復習の時間に時間を取られた。

他院で実習が実施できず、急遽、代行を頼まれた。院内カンファレンス、退院前カンファレンスが実施されず、カンファレンスの開き方、カンファレンスでの役割については口頭のみとなった。家族等との面接も制限された。

病院より、落ち着くまで実習の受け入れはしないこととなっている

一部をWEBで行うようになった。

指導者が陽性になった場合、代わりの者がおらずどう実習を進めるか悩んだ

#### ◆COVID19感染症拡大で、実習生への影響を感じましたか？（自由記載）

##### 14 件の回答

同上。実習生としては学びの機会が失われたのではないかと考えます。

感染予防のため職員は組織内の行動指針に基づいて日常生活や出勤の制限をしている。感染症拡大後、実習生受け入れはしていないが、実習生にも日常生活や出勤の制限を徹底する自覚が強くと求められると感じる。



昨年度は受け入れできなかったが、今年度は受け入れしていく予定。

受け入れに制約がでた

打ち合わせや見学などに制限がある

県内外の養成校側でコロナ感染拡大防止のため、実習生の派遣を見送る影響が見られた。  
本来の実習機会が制限された。

実習期間が分散したことで、学んだ内容の復習・予習が大変だったと思う。事例研究も9月の事例を2月に持ち越すことができず、2月（7日間）で行ったため、理解を深める時間が不十分だったように思える。

実習を受け入れていないが、現在はコロナ禍で当院では今現在家族の面会禁止、外部の方（CM含む）の立ち入り禁止の状況にあり、面談というよりは電話対応・FAX対応が多い状況でもあるため、これまでの実践で行っていたようなことがコロナ禍の今の状況では実習生に体験してもらうことが出来ないと感じている。

カンファレンス等の同席ができなかった。実習の2週間前から最終日まで毎日健康チェックシート記載を求められた。

受け入れ先が少なくなっているのではないか。

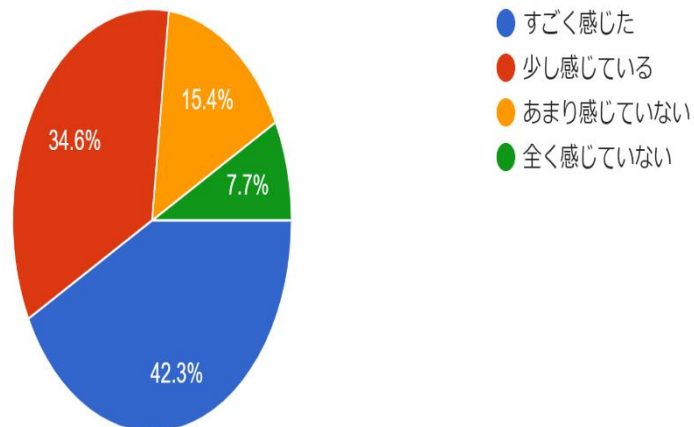
病院より、落ち着くまで実習の受け入れはしないこととなっており、実習先に困っていると聞いた。

限られた環境でしか実習が行えない。（病棟でのラウンドなどは参加不可）

実習が中断となった場合、学べなくなることで現場を知ることなく就職する怖さがあるのではと感じた

◆ COVID19感染症拡大で、実習指導への影響を感じましたか？

26 件の回答



◆ 上記設問で、すごく感じた、少し感じたと答えた方に質問です。具体的にどのような影響を感じましたか？（自由記載）

14 件の回答

養成校側にも感染対策を指導して頂くように依頼した。その文書もつくってもらいました。

感染が拡大し、職員自身も陽性や濃厚接触者となる可能性が日々高くなっている。部署内の感染予防で精一杯であるため、組織外から実習生の受け入れ検討ができるだけの余裕がないのが現状。

院内での受け入れに関する仕組みづくり。

そもそも実習の受け入れができない

受け入れ出来なかった。

打ち合わせや見学などに制限がある

各種制限がかかる中で、どのようなプログラムを立案すれば良いか悩んだ。また、養成校と病院との間の調整に苦慮した。日本協会や県協会、ソ教連などから具体的な指針が出ていれ

ば良かったのだが、何もアクションを起こして頂けなかったことが残念だった。とくに、県協会からの発信を期待したが、何もなされなかったことは残念に感じた。

感染予防による実習機会の制限。

先の質問への記載の通りです。(実習指導者への影響、実習生への影響)

上記項目同様

現場の雰囲気など知る機会が減ってしまう

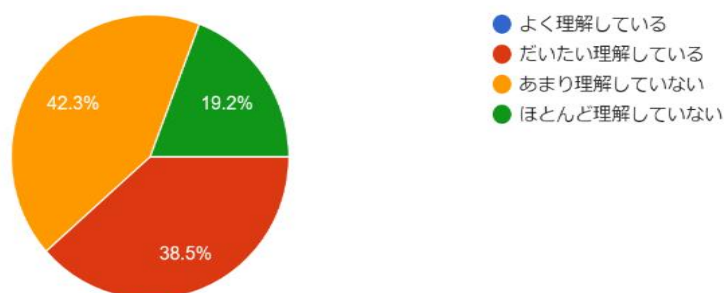
当院は陽性患者の受け入れしているため、外部からの院内の立ち入りも厳しいため、実習受け入れ自体ができない。

これまでは法人内の施設も含めて見学などを行っていたが、実習のプログラミングを縮小せざるを得なくなった。

実習中に院内職員に初めて陽性者がでた。そのような場合の実習の取扱いを決めておらず中止にしたが、あとでそこまでしなくてもよかったのではと悩んだ

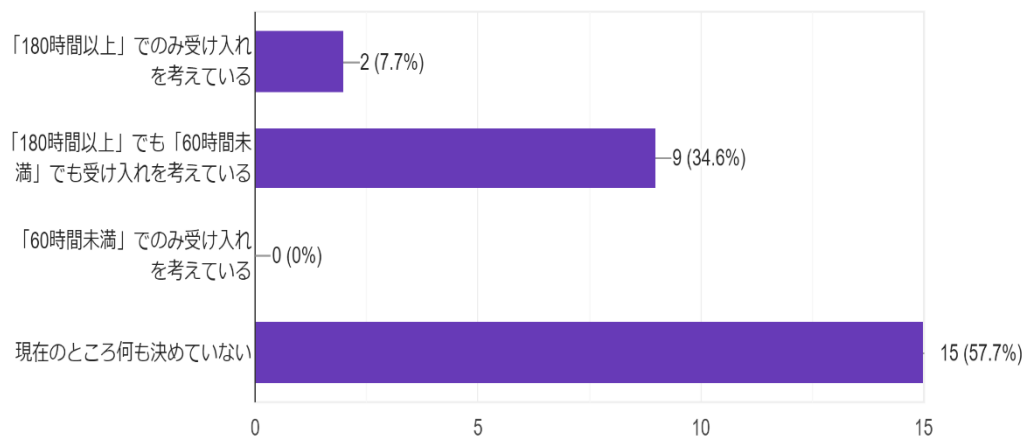
社会福祉士新カリキュラムにおける実習について、どの程度ご存知ですか？

26件の回答



社会福祉士新カリキュラムでの実習受け入れについて、現在のお考えをお聞かせください。

26件の回答



◆ その他、実習指導マニュアルについての要望、期待することはありますか？（自由記載）6件の回答

この実習マニュアルが広く養成校でも目を通して頂き、事前に学生に指導してもらえたらと思う反面、病院実習の敷居が高く感じられなければと思います。

詳細なマニュアルをありがとうございます。

コロナ禍での実習受け入れについての指針が欲しい。面会制限がある中でのプログラム立案など。

これまでも、様々な書籍が発刊されてますが、エッセンスをわかりやすく活用しやすく構成されており助かります。教育機関とも共通認識ができ、新カリキュラムにも沿った内容であると良いと思います。

特になし

本県協会理事に意見をもらいましたので、そのまま記載しました。

①P7 契約書の事が書かれているが、養成校から契約書が提示される方が多いのですが、職能団体としての契約書様式と養成校の契約書様式がある場合、どちらを優先するのかということも書いておいた方が良いのでは？ マニュアルだと、職能団体で作ったものが優先

されるように読み取れると思います。

②P15 「今後新カリキュラム（240 時間）では全実践過程（モニタリングまで）を実習計画に盛り込むことが求められる」とありますが、早ければ再来年度（令和5年）から新カリキュラムでの実習が開始されます。ですので、本マニュアルは旧カリキュラム前提で書かれていますが、新カリキュラムを前提とした内容にしても良いのではないのでしょうか。早急に、当面2年間使うマニュアルとして出すということであればこれでも良いと思います。また、旧カリキュラムと新カリキュラムで求められる内容がどのように違うのかも示したほうが分かりやすいと思います。ちなみに、「今後新カリキュラム（240 時間）」よりも「今後新カリキュラム（2か所での実習かつ1か所は180時間以上で合計240時間）」の方が誤解がないと思います。

③19p コンピテンツ⇒コンピテンス？

④20p（2）実習日誌を通じた実習スーパービジョン の項目についてです。この項の最終行に「もちろん、実習日誌を書かせる以上は、実習指導者もできる限り 当日中にコメントを付けて返却するよう心掛けたい。」とありますが、この一文をもう少し 手厚く修正してほしいです。 実習生に書かせるからには指導者もちゃんと書くよう「心掛けたい」ではなく、「実習日誌の指導者コメントも実習生には意味のあるスーパービジョンとなるものであるから、 指導者も記載内容を十分に考慮したうえで当日中にコメントをつけて返却するよう努めること」などと、指導者がコメントを書くことの重要性和、「心掛けたい」という希望的表現ではなく「努力する」よう促す表現にしてほしいなと思いました。